

Sustainability Report 2026

サステナビリティレポート 2026



林六株式会社



目次

イントロダクション

1. トップメッセージ
2. 事業概要とサステナビリティ推進体制

企業方針

1. サステナビリティ方針（パーパス）
2. 経営理念
3. 価値創造プロセス

マテリアリティ

1. 林六のマテリアリティ
～「六方よし」による持続可能な価値創造～
2. 「六方よし」を実現する3つの重点取り組み領域

具体的な取り組み

1. 循環型社会の実現
2. 働きがいのある職場づくり
3. 国際社会・地域社会への貢献

お問い合わせ

トップメッセージ

林六グループは、江戸時代から続く歴史の中で「誠実さ」を重んじ、お客様のニーズに寄り添い社会とともに歩んでまいりました。先達から受け継いだ知見と信頼を基盤に、優れた技術力と提案力で高い価値を創造し、グローバルに社会へ貢献し続けることを目指しています。

私たちが最も大切にしているのが「自然と調和する持続的発展」です。水資源の汚濁防止、環境浄化技術の提供、再生可能エネルギーの推進など、地球環境保護は当社の事業活動そのものです。社会情勢の変化や地球規模の課題に対し、責任をより明確にし取り組みを加速させるため、2025年4月に「CSR本部」を新設いたしました。

私たちの行動指針の核となるのは、独自の価値観「六方よし（環境、地域、社員、未来、取引先、仕入先）」です。法令を遵守し、公平・公正な企業活動を通じて、すべてのステークホルダーの皆様の幸せを追求すること。この精神こそが、林六のサステナビリティの根幹にあります。

私たちはこれからも、長年培った「解決力」と「安心感」を武器に、地球環境問題に真摯に向き合い、ステークホルダーの皆様とともに、より豊かな未来を築いてまいります。

今後とも、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

林六株式会社 代表取締役社長 廣部 靖宗



事業概要とサステナビリティ推進体制



事業の柱（3セグメント）



第Ⅰ事業本部

紙の製造から段ボールケースまで、技術サポートと資材販売を行っています。お客様のニーズに合わせた包括ソリューションを提供し、環境に配慮した製品開発にも力を入れています。



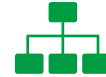
第Ⅱ事業本部

汚染された空気・水・土を処理し、安全な地球を守るための薬剤（凝集剤など）を販売しています。環境浄化技術を通じて持続可能な社会づくりに貢献しています。



第Ⅲ事業本部

エネルギー関連（バイオマス燃料輸入など）、化成品、食品、海外ビジネスなど、幅広い分野で活動しています。再生可能エネルギーの促進と国際的な事業展開を推進しています。



推進体制

取締役会



CSR本部【新設】

第Ⅰ事業本部

第Ⅱ事業本部

第Ⅲ事業本部

✓ CSR本部の新設

2025年4月より新たに設置されたCSR本部が中心となり、会社を横断した取り組みを推進。持続可能な企業活動を実現します。



サステナビリティ方針（Purpose）



私たちの存在意義

過去から今へ受け継ぐ世界、ともに明るい未来を築きませんか？
林六は解決力と安心感であなたにそっと寄り添います

林六が大切にしている3つの価値

江戸時代から続く知見と誠実さ

長い歴史の中で培われた信頼と技術を、次の世代へ確実に引き継ぎます。

地球環境への真剣な取り組み

持続可能な循環型社会の実現に向けて、今できることを着実に実行します。

希望ある未来への橋渡し

お客様とともに、解決力と安心感で、明るい未来を創造します。

経営理念

林六グループは、優れた技術力と提案力で高い価値を創造し、常に次のマーケットニーズをキャッチし、グローバルに社会に貢献します。



法令遵守

国内外の関係法令を遵守し、公平公正な企業活動を通じ、信頼される企業活動を行います。



顧客満足

お客様の満足と信頼を満たし、さらなる期待に答える商品を常に提供いたします。



社会貢献

地球環境問題に真摯に向き合い、問題解決に向けて地球環境保全に努めます。

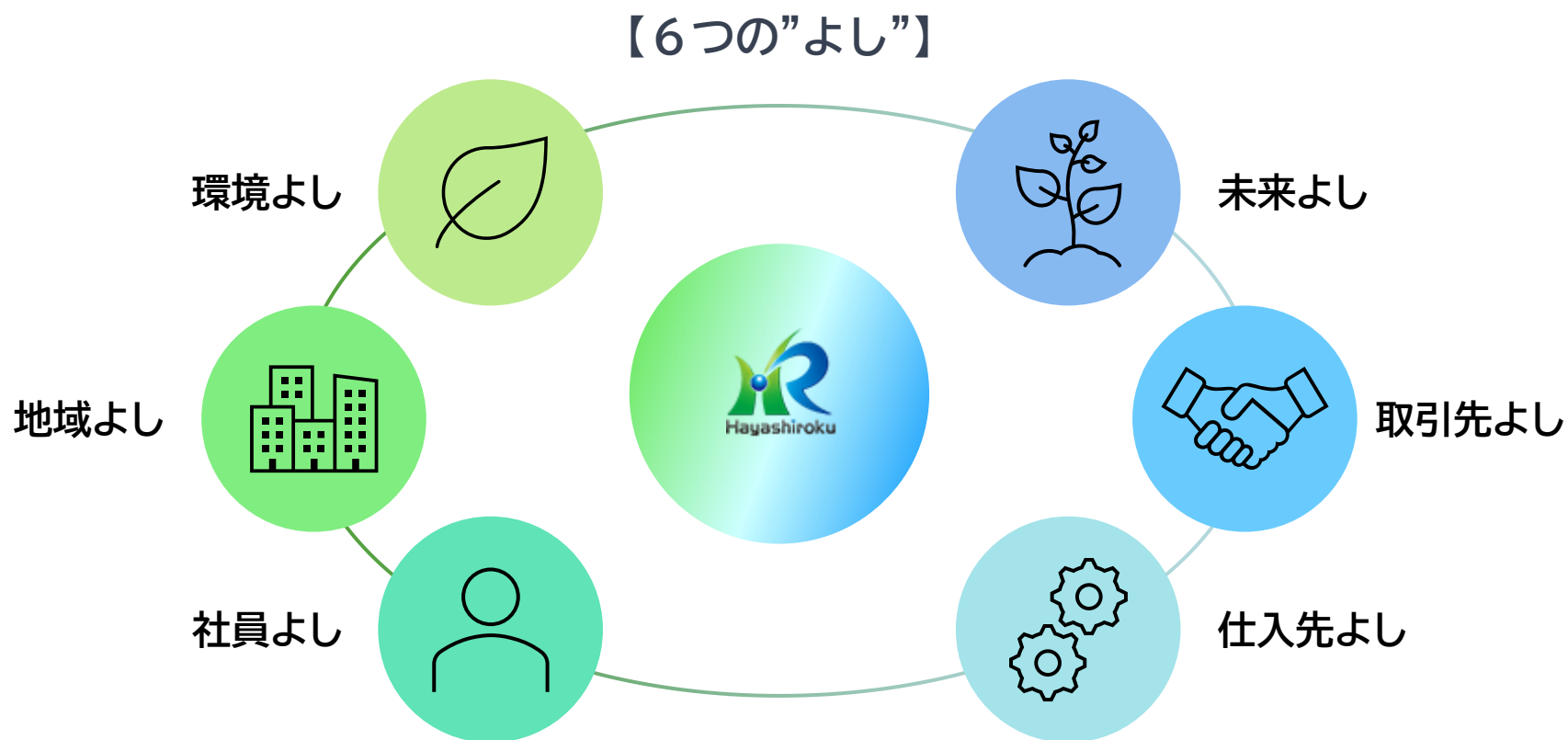


労働環境

社員一人ひとりが自主性、創造性を発揮し、安全安心に働き続けられる職場環境の整備に努めます。

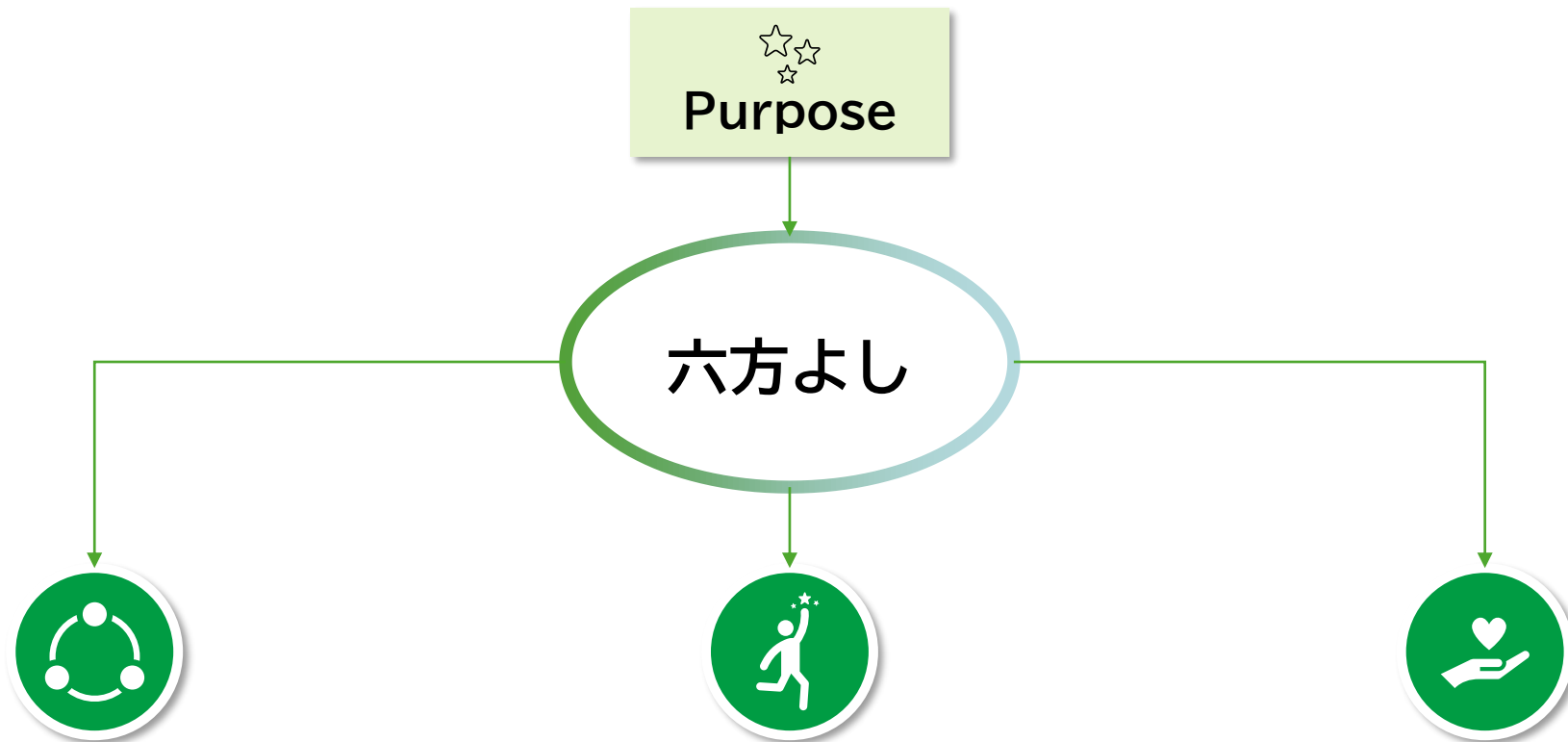
私たちの価値観「六方よし」による持続可能な価値創造

林六の「六」にちなんだ独自の考え方として、すべてのステークホルダーの幸せを追求します。近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神を受け継ぎ、さらに発展させた林六独自の価値観です。





「六方よし」を実現する3つの重点取り組み領域



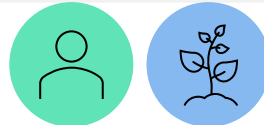
① 循環型社会の実現をリードする事業

環境に配慮した製品開発と循環型燃料事業を通じて、持続可能な社会づくりに貢献します。



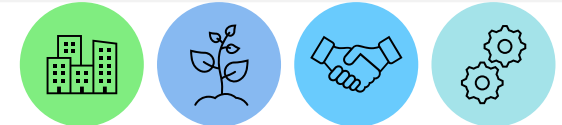
② 一人ひとりが活躍できる、安全で働きがいのある職場づくり

人権・労働・健康経営の観点から、一人一人が活躍できる安全な職場環境を整備します。



③ 事業の強みを活かした国際社会・地域社会への貢献

国際社会・地域社会との共生を通じて、事業の強みを活かした社会課題解決に取り組みます。





①循環型社会の実現を リードする事業

- ✓ 長年培われた商品情報力、商品供給力を活かし、工場や下水道局等で使用する水処理剤や土木建築工事で使用する土壌汚染処理剤を供給することにより、水質を改善し、化学物質の排出抑制や廃棄物の発生防止に寄与します。
- ✓ 太陽光発電の部材販売を通じて、カーボンニュートラルの実現を目指し、気候変動の抑制と持続可能な社会の構築に貢献します。





循環型社会の実現をリードする事業

水環境保全の取り組み



グループ会社が製造する水処理凝集剤を、上下水道局や工場の排水処理施設へ供給。

汚水の浄化処理を円滑化することで、水質汚染の防止と、地域社会の安全な水環境の保全に寄与しています。

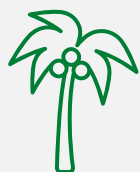
環境配慮型製品開発



段ボール接着剤に含まれるホウ素を削減する技術に取り組み、環境負荷の低減に貢献しています。

とうもろこしを原料とした素材を活用することで、CO2吸収に貢献。石油由来製品の使用抑制と環境負荷低減を実現しています。

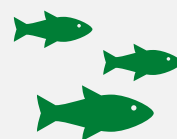
バイオマス燃料事業



インドネシアにおいて、アブラヤシの実からパーム油を搾った後に残るヤシの実の殻を回収し、日本のバイオマス発電所へ安定供給。

未利用資源をエネルギーに変えることで、温室効果ガスの削減とカーボンニュートラルの実現に貢献しています。(P.10)

食品ロス削減への貢献



GSK株式会社製の特殊冷風乾燥機により、低温乾燥で魚の弾力や味を保持。

従来は練り物にするしかなかった魚を商品価値の高い干物として販売可能にし、食品ロス削減と漁業者の収益向上が期待できます。

未利用資源を未来の エネルギーに変える、 バイオマス燃料事業

インドネシアにおいて、これまで廃棄されていたパーム椰子の殻（PKS）を有効資源として回収しています。

これらを日本のバイオマス発電所へ安定供給することで、化石燃料に代わる再生可能エネルギーの創出を支えています。

未利用資源の有効活用と温室効果ガスの排出削減を両輪で推進し、地球規模の課題であるカーボンニュートラルの実現に向けて、エネルギー事業の側面から貢献し続けてまいります。





②一人ひとりが活躍 できる、安全で働きがい のある職場づくり

- ✓ 一人ひとりが自発的に行動し、個でありながらチームとして大きな成果を生み出せる組織を目指します。
- ✓ 様々な企業や人との出会い、かかわりを通じて「人として」成長できる職場を実現します。
- ✓ 市場環境の変化に迅速に対応できる組織体制を構築し、持続的な成長を実現します。



一人ひとりが活躍できる、 安全で働きがいのある職場づくり

人事制度・給与体系の改定



役職と役割を明確化した人事制度で評価の透明性を確保。

ライフスタイルの変化など、労働環境の変化へも柔軟に対応できる環境を整え、社員一人ひとりが将来に期待を持ち、会社とともに成長できる環境を整備しています。(P.13)

OJTの充実と知識向上



3か月の実務訓練など、定期的なOJTを実施。先輩社員に相談しやすい環境の中で、商材知識の習得と提案力を高め、社員一人ひとりの自律的な成長を支援します。

また、メーカーを招いた商品説明会や工場見学も定期的を開催し、実践的な知識習得を推進しています。

世代間交流の推進



会社が社内イベントや同好会、親睦会の開催を支援。世代を超えた交流を促進し、相互理解を深める場づくりを行っています。

相手の人となりを把握することで、一人ひとりに合わせた最適な接し方を考えることができ、チーム力の向上につながっています。

部署横断的な連携



新規開発チーム「創六」の発足し、定期的な部署横断ミーティングを通じて、課題共有や改善提案を行っています。

部門を超えた連携や課題解決の検討を行うことで、相互理解が深まるとともに、全員が新規案件の創出、会社の利益に貢献する文化を醸成しています。

社員一人ひとりの成長を 加速させる、人事制度の改定

社員一人ひとりが自身のキャリアビジョンを描き、意欲を持って働けるよう、人事制度と給与体系を抜本的に改定しました。

役職ごとの役割責任を明確化し、成果とプロセスを公平に評価する透明性の高い仕組みを導入。

また、育児や介護などライフステージの変化にも柔軟に対応できる労働環境を整備しています。

個人の成長が会社の発展につながる好循環を生み出し、誰もが安心して長く活躍できる
「働きがいのある職場」の実現を目指します。





③事業の強みを活かした 国際社会・地域社会 への貢献

- ✓ グローバルな環境課題への対応と、地域に根ざした社会貢献活動を両輪で推進し、事業の強みを活かして社会課題の解決に貢献します。
- ✓ 永年培った信用力と新しい海外ネットワークを生かし、液状化・土砂災害に強いまちづくり、地域インフラの整備・発展の為に必要な材料を供給し続けます。あらゆる出来事に迅速に対応できるネットワークを築いていきます。



事業の強みを活かした国際社会・地域社会への貢献

グローバルな水不足解消への貢献



世界的な人口増加、新興国を中心とした経済発展や工業化の進展を背景に水需要は急激に増加し、水不足が懸念されています。

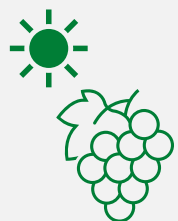
林六は水不足解消の一端を担う上水道インフラや海水淡水化のRO膜事業に携わることにより、今後水不足が深刻化する地域の水不足解消に寄与しています。

循環型食糧生産システム『ととふぁーむ®』



「ととふぁーむ®」は、魚の養殖と「砂耕栽培」を融合した循環型食料生産システムです。従来のアクアポニックス（水耕栽培）の課題を克服し、海水生物の飼育水の活用も可能。環境負荷を抑えつつ、天候に左右されない持続可能な食料生産を実現しています。（P.16）

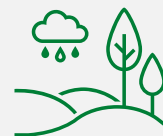
営農型太陽光発電-HAPPYプロジェクト



茨城県水戸市鯉淵町で、農地上部に太陽光パネルを設置し農業生産と発電を両立させています。

農家の安定収入確保により、日本の食料自給率やエネルギー自給率の問題解決に貢献します。（P.17）

みんなが安心して暮らせる街づくり



長年培った水浄化技術の知見を活かし、地震時の「液状化対策」や大雨による「土砂災害対策」、災害復旧に欠かせない多様な資材の研究・販売を行っています。

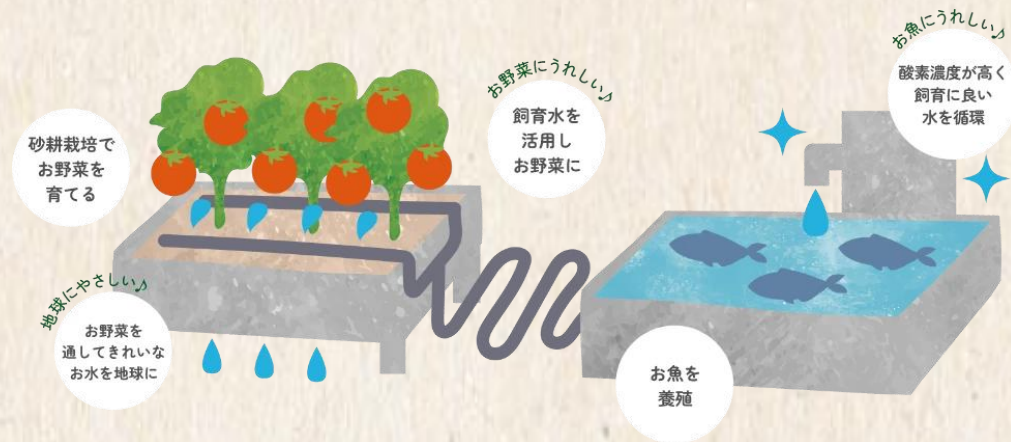
誰もが安心して暮らせる災害に強い街づくりを、「水」と「インフラ」の両面から支えます。

循環型食糧生産システム 『ととふぁーむ®』

循環型食料生産システム「ととふぁーむ®」は、
魚を意味する「とと」と農園を意味する
「ふぁーむ」を組み合わせで名付けられました。

最大の特徴は、通常のアクアポニックス（水耕栽培）と違い、「砂耕栽培」を用いている点です。魚の飼育と砂耕栽培を融合させた「AQベジTech」により、作物が栄養を吸収しながら水を浄化する環境負荷低減型栽培法を構築しています。

水温管理可能な陸上養殖とビニールハウス栽培を組み合わせ、海水温や天候に左右されない安定生産を実現。現在は廃校などの地域資源も有効活用し、環境負荷を抑えながら安全で美味しい食料を届ける持続可能な取り組みを推進しています。



ととふぁーむ公式ホームページはこちら

<https://totofarm.jp/>



営農型太陽光発電 『HAPPYプロジェクト』

茨城県水戸市鯉淵町にて、農地の上部空間に太陽光パネルを設置し、農業生産と発電事業を同時に行う「営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）」を推進しています。

この取り組みにより、再生可能エネルギーの普及による脱炭素社会への貢献だけでなく、農家の経営安定化による後継者不足の解消や、耕作放棄地の再生にも寄与します。

日本の食料自給率とエネルギー自給率という二つの重要課題に対し、事業を通じて解決策を提示していきます。



エヴェッサ大阪との地域貢献

私たちは、地元大阪のプロバスケットボールチーム「エヴェッサ大阪」のオフィシャルパートナーとなりました。



©OSAKA EVESSA



林六株式会社

（お問い合わせ先）

CSR本部

〒542-0081

大阪府中央区南船場4-11-28 JPR心斎橋ウエスト 8階

電話番号：06-6262-3914

WEBサイトURL：<https://www.hayashiroku.co.jp/>

